



ラクトミルクとは・・・

ラクトミルクは、乳酸菌粉末を配合した混合飼料（A 飼料）です。哺育期の子牛や子豚などを対象とした製品で、整腸作用、免疫力強化といった効果を発揮し、発育の改善が期待できます。



(120g/袋)

使用方法

●●ラクトミルクの給与方法●●

給与量：1 頭あたり 1 日 2 g

- 初乳、生乳、代用乳 1ℓ に対して「ラクトミルク」1g を混合溶解してください。
- 1 日量を 1 回または数回に分けて給与してください。
- 1 頭 1 日 2 g、2 か月分 1 2 0 g を 1 袋のパッケージしてありますので、使い切りです。1 袋でも注文可能です。



●●離乳後は速やかにゼオ・ラクトに移行●●

哺乳中はなかなか代用乳や濃厚飼料を多く食べないため、乳酸菌を混合しても確実に与えられません。

そこで、ミルクに乳酸菌の入った「ラクトミルク」を加えることで確実に乳酸菌を消化管に定住させることができ、速やかに育成期に与える「ゼオ・ラクト」に移行できます。

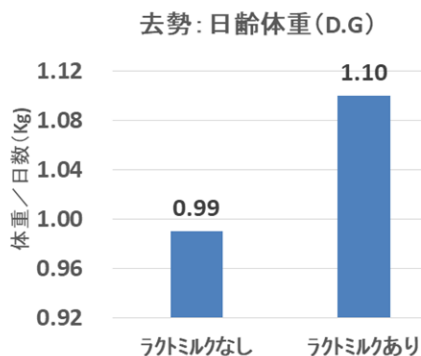
保存方法

「ラクトミルク」には**生きた乳酸菌**が含まれていますので、冷暗所で保存し、お早めに給与してください。

効果例

●●早期離乳した和牛子牛への給与●●

和牛繁殖牛の分娩後子牛を早期離乳することで、母牛の負担を軽減させ、分娩後の子宮の回復を早め、早期受胎させることが可能になります。この際にミルクに「ラクトミルク」を混合して与えることで、哺乳中の下痢等を抑制し、発育が向上します。



県内繁殖農家で「ラクトミルク」を与えて、発育が向上しました。

* 発育値は北陸三県子牛市場成績より

●●受精卵移植で誕生した子牛への給与●●

乳牛を借り腹とする受精卵移植で誕生した和牛子牛は、繁殖母牛から誕生した子牛とは違って速やかに十分に初乳を哺乳できないので免疫の獲得が不十分になり易いです。

この際に子牛に給与するミルクに「ラクトミルク」を混合して与えることで、哺乳中の下痢等を抑制し、発育が向上します。



乳牛から誕生した和牛子牛のミルクに「ラクトミルク」を混合し、哺乳している様子です（右写真）。